



令和4年度 基本評価調書①		所管部局	総合政策部	所管課	国際課		
施策名	国際会議等の誘致推進			施策コード	0208		
政策体系(中項目)	道民をはじめ国内、そして世界中から愛される「観光立国北海道」の実現			政策体系コード	2(6)A		
関連重点戦略計画等	知事公約、創生総合戦略					事務事業数	1
SDGs	 			総合判定	遅れている		
予算額(千円)	R 4	0	R 3	0	R 2	0	

施策目標	本道の知名度向上や国際化の推進、交流人口の拡大等による地域の活性化を図るため、国及び地域の関係者との連携を強化しながら、引き続き、国際会議等誘致の取組を推進する。	
現状と課題	道では、洞爺湖サミット(H20)を契機に国際会議誘致の取組を強化し、数々の国際会議の本道開催を実現したが、直接的な経済効果はもとより、食や観光のPR、人的ネットワークの拡大などの観点から、コロナの情勢を踏まえつつ、引き続き会議誘致に積極的に取り組む必要がある。	
前年度二次評価意見		対応状況 (R4.3時点)

	今年度の取組	実績と成果
主な取組	<p>○国主催の省庁連絡会議における本道への会議誘致のPR及び国際会議の開催情報等の収集</p> <p>○道内市町村やコンベンションビューロー等との情報交換及び会議誘致にかかる諸調整</p> <p>○道内市町村やコンベンションビューロー等と関係省庁を訪問し、具体の会議誘致の働きかけ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際会議等の北海道開催の推進に係る各省庁連絡会議がコロナの影響で書面開催となり、北海道の魅力や国際会議開催の優位性などを記載した資料を各省庁へ配付し、国際会議開催適地としての北海道をPRした。</li> <li>・札幌市や旭川市などMICE誘致に力を入れている市などに対し、政府系国際会議のうち北海道で開催する可能性のある会議について情報提供するとともに、誘致に関心を持っている国際会議がある市と情報交換を行った。</li> <li>・北海道で開催する可能性がある政府系国際会議について各省庁から情報提供を受け、6件の国際会議について「北海道MICE誘致推進協議会の構成市へ情報提供した。</li> </ul>

連携状況	国における国際会議開催の今後の動向や見直しなどについて、北海道MICE誘致推進協議会の構成団体と情報共有を図るとともに、構成団体と連携しながら各省庁に対して国際会議の誘致活動を実施した。
緊急性優先性	北海道では、2008年に開催された北海道洞爺湖サミットを契機に、国際会議の誘致の取組を強化。2008年7月4日に「国際会議等の北海道開催の推進」についてという閣議了解をいただき、北海道による国際会議等の誘致の取組強化に応じて政府として必要な支援を行っていくため、国際会議等の北海道開催の推進に係る各省庁連絡会議を設置いただいたことから、各省庁に対し国際会議等の北海道開催を要望しているところ。

令和4年度 基本評価調書②	施策名	国際会議等の誘致推進	施策コード	0208
---------------	-----	------------	-------	------

<成果指標の達成状況> ⇒ 3つ以外の指標は、補助指標調書に記載

指標名①	増加	回数	H30年度	R1年度	R2年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
国際会議等の開催件数(暦年)		目標値	119	122	125	140	2.4%	D
		実績値	116	115	3	-		

設定理由 道内における国際会議等の開催動向を把握する指標として設定。

分析(主な取組と成果)

R2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により海外との往来が原則停止したため、国際会議の開催件数は激減したが、今後もポストコロナを見据えたより積極的な国際会議等の誘致に向けて取り組む必要がある。

指標名②			R2年度	R3年度	R4年度	最終目標()	達成率	指標判定
		目標値					-	-
		実績値						

設定理由

分析(主な取組と成果)

指標名③			R2年度	R3年度	R4年度	最終目標()	達成率	指標判定
		目標値					-	-
		実績値						

設定理由

分析(主な取組と成果)

【総合判定】

連携状況	○	緊急性優先性	○	指標判定	D	総合判定	遅れている
------	---	--------	---	------	---	------	-------

翌年度に向けた対応方針	対応方針番号	内容
	①	今後は、政府の水際対策の緩和等により国際会議の開催の回復を期待しており、新型コロナウイルス感染症の拡大防止等を徹底しながら、オンライン開催、ハイブリッド開催など主催者の意向を踏まえるとともに、これまでの本道における国際会議の開催で培った北海道の知名度や官民協働の機運を活かし、積極的に国際会議の誘致に取り組む。
	②	
	③	

令和4年度 基本評価調書③	施策名	国際会議等の誘致推進	施策コード	0208
---------------	-----	------------	-------	------

<二次政策評価>

R4年度 二次政策 評価	<p>【施策目標の達成状況】</p> <p>総合計画に掲げる、「観光立国北海道」の再構築のため、新型コロナウイルス感染症の情勢を踏まえた会議誘致に積極的に取り組むことが重要であり、総合計画の政策目標の実現に向け、取組の一層の推進を検討すること。</p>
--------------------	--

<b>令和4年度 事務事業評価調書</b>	施策名	国際会議等の誘致推進	施策コード	0208
-----------------------	-----	------------	-------	------

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	令和4年度						令和4年度			
						前年度からの繰越事業費(千円)	事業費(千円)	うち一般財源	執行体制			フルコスト(千円)	一次政策評価		二次政策評価意見
									本庁	出先機関	人工計		対応方針番号	方向性	
0906		一般	国際会議誘致事務	国際会議の情報収集・分析や、誘致要請・プロモーション活動のほか、会議開催支援、関係機関との連絡調整に係る事務	国際課		0	0	0.3	0.1	0.4	3,114	①	改善(指標分析)	【施策目標の達成状況・事務事業の有効性】 ※基本評価調書③〈二次政策評価〉参照
計						0	0	0	0.3	0.1	0.4				